

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	国際経済事情(International Economic Affairs)		授業コード	E019151
担当教員名	市川 芳郎		科目ナンバリングコード	E10413
配当学年	1	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	現実の経済の動向に対しての関心があるかどうかがこの科目の理解の程度に大きく影響してきます。日々の新聞、ニュースに関心を示し、注意を払ってください。問題意識の濃淡が理解の程度に大きく影響してくると思われます。			
受講心得	講義を受ける基本的なルール(私語をつつしむ、他の学生の迷惑となる行為を行わないなど)を遵守して下さい。出席は毎回とります。			
教科書	特定の教科書は使用しません。毎回プリントを配布します。			
参考文献及び指定図書	講義の中で推薦図書を紹介します。			
関連科目	特にはありません。			

授業の目的	経済のグローバル化の進展にともない、私たちの身の回りでは国際経済に関する諸問題の具体的な状況が取り上げられ論じられています。個別の働きを大きな経済・社会の変化の潮流の中に位置づけ、より深く理解するには、最低限の経済常識が不可欠です。本講では、国際経済の仕組み、現状とさまざまな課題を説明し、国際経済の現状と将来に対して関心を持ってもらい興味を喚起することで、自分自身の問題として国際経済の諸問題を考えるための基礎知識を身につけてもらうことを目的としています。本年度は、国際経済の全体の流れ、時事的問題などの紹介と解説をおこないます。
授業の概要	前半部では途上国から見た国際経済、先進国から見た国際経済についてVTR教材を用いて説明します。その場合のキーワードは「グローバル経済」です。後半は貿易のもたらす利益、貿易赤字・黒字の正しい意味、為替レートの決め方、国際通貨体制について基礎的な内容の説明をします。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：第1回 開講にあたって 授業計画に記載している諸注意事項の説明、授業の目的、受講心得など、について詳細に説明します。特に、授業内容、授業の組み立て、評価方法について丁寧に説明します。	
第2週：第2回 「発展途上国からみる国際経済(1)」 国際経済事情の授業の第1回を世界で最も貧しい国の一つであるバングラディッシュのムハマト・ユヌス氏の話から始めます。ユヌス氏は教職をやめ、貧しい人が無担保でお金を借りることが出来る銀行を始めました。「グラミン銀行方式」のマイクロクレジットです。今やバングラディッシュ国内にとどまらず全世界に広まっています。現代の発展途上国経済社会においての、このユヌス氏の「こころざし」とマイクロクレジットの意義について説明します	配布プリント
第3週：第3回 「発展途上国からみる国際経済(2)」 VTR「インドの衝撃—わき上がる頭脳パワー」を見ます。IT産業を中心に急発展し続けるインド、その武器は大量の優秀な人材です。インドの優秀な人材がどのようにして生まれるのか。その頭脳集団を生み出す教育現場であるIIT(インド工科大学)やラマヌジャン数学アカデミーを克明に取材した番組です。発展途上国での教育のもつ重要性を考えます。	配布プリント
第4週：第4回 国際経済の潮流の変化(その1) 2008年のリーマン・ショックに端を発した世界同時不況以降、先進国・発展途上国の多くはその後遺症に苦しんでいます。そのような状況の下で、2010年には中国のGDPが世界第2位になりました。また、ギリシャの財政危機はEUやユーロの信頼を薄れさせました。大きな構造変化が生じているのでしょうか。現状の国際経済の見取り図を描いて説明します。	配布プリント
第5週：第5回 国際経済の潮流の変化(その2) 前回に引き続き現状の国際経済の見取り図を説明します。	配布プリント
第6週：第6回 「現代国際経済社会の現実—グローバリズムのもたらす光と影」	配布プリント

1990年代になってのIT(情報通信)革命の進展が、地球規模での市場経済の拡大・深化を加速しています。グローバル経済の光と影の部分を「グローバル経済」というキーワードで読み解きます。		
第7週：第7回 貿易は何のためにあるのか 貿易を行うことの利益について考えます。比較優位の考え方を説明します。		配布プリント
第8週：第8回 貿易についての誤解を解く 重商主義＝国際競争主義はなぜ誤りなのかを説明します。		配布プリント
第9週：第9回 変貌する国際分業構造 産業構造のグローバルな調整について説明します。いわゆる「産業空洞化問題」です。		配布プリント
第10週：第10回 貿易黒字・赤字の正しい考え方 貿易赤字は本当に問題なのでしょうか。貿易不均衡はなぜ起きるのでしょうか。国際収支の基本原則について説明します。		配布プリント
第11週：第11回 貿易黒字・赤字の誤解を解く 貿易不均衡が「貿易問題」ではない理由、貿易不均衡が「悪」でない理由について説明します。		配布プリント
第12週：第12回 国際経済の中での「円安ドル高」とか「円安ウォン高」の意味 円が高いとか安いとかいうのはどういう意味でしょうか。ウォンに対して円が安いと国際経済の中ではどのようなことになるのでしょうか。通貨の交換比率である「為替レート」はどのように決まるのでしょうか。基本的な仕組みについても説明します。		配布プリント
第13週：第13回 国際通貨制度の歴史的変遷 国際金本位制度の意味、ブレトン・ウッズ体制、ニクソンショック、変動相場制について説明します。		配布プリント
第14週：第14回 国際通貨制度のゆくえ 「通貨危機」はなぜ起きるのか。1997年のアジア通貨危機を含めこれまでの「通貨危機」の経緯について説明します。		配布プリント
第15週：第15回 国際経済のゆくえ アメリカ・EU・日本などの自由主義市場経済的先進国の国際経済の中での地位の低下、中国などの新興国の台頭がこれまでの国際経済秩序・枠組みを大きく変化させる可能性があります。現時点での今後の動向を整理してみます。		配布プリント
第16週：期末試験 論述形式の試験問題です。自筆ノート、配布プリント・資料の持ち込みは可能です。電子式辞書の使用はできません。		配布プリント 自筆ノート、学生証
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	1.世界の出来事に関心を示し、新聞、TVのニュースを熱心に見るようになった。
【知識・理解】	1. 現在の各国経済は密接な相互依存関係にあり、孤立しての各国民の豊かな生活は保障されないことを理解している。2. そのためには世界平和が前提であることを理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			10点	
【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。	60点	30点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	課題を設定してレポートを提出してもらいます。授業の中で指示します。 授業確認テストをします。意欲的に集中して授業を聴いていたかを確認する問題を出します。
発表・その他 (無形成果)	授業の中で質問する場合があります。適切な解答をした人には、記録して加点します。